

飲み物を
買って
社会貢献

赤十字支援型自販機の 協力企業・団体を募集中!!

当支部では災害時における救護活動、青少年の育成
や救急法等の講習など様々な活動をしております。
赤十字支援型自販機を設置して、売り上げの一部を当
支部の活動へ寄付しませんか？

現在県下で9つの法人・団体がご協力いただいでい
ます。



お問い合わせは下記までご連絡ください。
日本赤十字社大分県支部 総務課
TEL:097-534-2236

アンケートに ご協力お願いします

今後の「日赤おおいた」の紙面づくりの参考に、
アンケートへのご協力をお願いします。

以下の①～④をご記入のうえ、平成28年2月5日
(金)必着で、郵便、FAXにてご回答ください。

ご協力いただいた方から抽選で10人の方に、
「クロストート・クレスント」をプレゼントします。

皆様のご意見をお待ちしております。

- ①お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ②本紙を読まれた場所
- ③本紙へのご意見・ご感想
- ④今後掲載してほしい内容



● 回答先 ●

郵便 〒870-0033 大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分県支部 総務課
「日赤おおいた」28号 アンケート係

FAX (097)533-6795

※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせて
いただきます。

高額寄付者(社)のご紹介 (平成27年7月末～平成27年11月末までの申込分)

日本赤十字社大分県支部に多額の事業資金をお寄せ
いただいた方を、本人または法人のご意向を確認して掲
載しています。

ご協力ありがとうございました。(敬称略・順不同)

- ▶ 佐伯市 (株)三浦造船所 三浦 政信
- ▶ 津久見市 (有)高司水産
- ▶ 竹田市 後藤 光博 柏木 良知
- ▶ 豊後大野市 佐藤 光俊
- ▶ 国東市 福田 克彦



法人社資協力企業

ご協力いただき、希望される法人様には『法人社員証』をお渡ししています。

今年度も県内各地の法人様から多くの活動資金のご協力を賜わり、
厚く御礼申し上げます。

今後も赤十字事業にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

11月末までにご協力いただいた法人数 **1,187** 法人



赤十字についてのご連絡は、最寄りの市町村の赤十字担当窓口または県支部へ

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236・FAX(097)533-6795
日赤大分 検索
http://www.oita.jrc.or.jp

大分赤十字病院

〒870-0033 大分市千代町2丁目2-37
TEL (097) 532-6181・FAX (097) 533-1207
http://www.oitasekijyuji.jp/

大分赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字在隈717-5
TEL (097) 547-1151・FAX (097) 547-1141
http://www.bc.9.org/oita/

献血ルーム・わたん

〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわざだタウン」3街区2階
TEL (097) 574-6822・FAX (097) 542-5777

回																				
覧																				

日赤おおいた No. 28



- ① はたらくるま大集合!(別府市)
- ② 「防災について」出前講座を実施(大分市)
- ③ こどもすくすく講座(大分市)

赤十字グッズが当たる アンケート実施中!!

詳しくは裏面をご覧ください。

役立ちます!

とっさの手当と予防 ~やけどについて~

詳しくは中面をご覧ください。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社は、
苦しんでいる人を救いたい
という思いを結集し、
人間のいのちと健康、尊厳を
守ることを使命とする
人道的機関です。

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

皆様の支援が赤十字を支えています

皆様から寄せられる**社資(事業資金)**によって、
いのちと健康、尊厳を守る**人道的活動**を行っています。



見える・さわれる・乗り込める 赤十字の「はたらくるま」が集結！

10/18 Sun

別府市の城島高原パークで開催されたイベント「はたらくるま大集合！」に参加しました。当日は多くの家族連れで賑わい、赤十字の展示スペースにもたくさんの方が足を運んでくれました。

支部からは救急車と災害救護トラック、血液センターからは血液運搬車と献血バスを出展し、普段見ることのできない車両の内部まで来場者に見てもらいました。

また、心肺蘇生の体験や赤十字の救護服を着て救急車の中で記念撮影をするなど、赤十字の活動を身近に感じてもらう事ができました。特に心肺蘇生の体験では、いざという時のために熱心に説明を聞く保護者が多くいました。

来場してくれた子どもたちは「大きくなったら困っている人を助けるお仕事をしたいな。」など、目をキラキラさせながら夢を語ってくれました。



いざという時の心肺蘇生



救急車の中でポーズ

児童に防災の知識を 青少年赤十字サポートプログラム

11/1 Sun



赤十字では、青少年赤十字加盟校(園)を対象にサポートプログラム(出前講座)を実施しており、今回は大分市の住吉小学校と中島小学校で「防災について」の出前講座を実施しました。

地震や津波の時どう行動するかを知ってもらい、災害が起きたらどうしたらいいのか児童たちに考えてもらいました。また、簡単なパズルを使って非常時の持ち出し品を考えてもらい、事前準備の大切さや、いち早く逃げていのちを守る事が大事であることを知ってもらいました。

当日は両校とも、ふれあいPTAを開催しており、児童たちは保護者の方々に見守られながら熱心に説明を聞いていました。また、真剣に防災について考えている児童たちを見て、保護者の方々もとても感心した様子でした。

当支部は、今後もこうした防災教育の活動を普及していきます。
お問い合わせは下記まで

日本赤十字社大分県支部 事業推進課
Tel: 097-534-2237
(サポートプログラムは「学校」が対象となっております。)



学校の危険な場所を
考えよう



非常時に大切な物はなに？

役立ちます! とっさの手当と予防

今回は熱傷について

これからの季節、各家庭には暖房器具が必須となりますが、そんなときこそ知っておいてほしいのが熱傷(やけど)の手当です。家の中にはやけどを起こす原因がたくさんあります。やけどをした部分が「広い」ほど、「深い」ほど危険です。



手当

- ・ 急いで冷たい水、水道水を注いで痛みが取れるまで冷やします。
- ・ 衣類を脱がさないで、そのまま衣類の上から冷水をかけます。
- ・ 水ぶくれはつぶさないで、消毒した布か洗濯した布で覆い、その上から冷やします。
- ※ 熱傷範囲が広い場合、広範囲を冷やし続けることは、体温をひどく下げる危険があるので、低体温に注意します。特に、子どもや高齢者には注意が必要です。
- ※ 軟膏、油、消毒薬などはぬりません(ぬると感染を起こしたり、医師の診療の妨げになります)。
- ※ 広範囲の熱傷や顔・手など熱傷の部位によっては特殊な治療が必要となり、そのような場合は119番通報し、専門の医療が可能な医療機関へ搬送する必要があります。



あなたの意思を、故人の遺志を、 日本赤十字社が引き継ぎます

～遺贈・相続財産の寄付のご案内～



近年、「自分が亡くなった後、築いた財産の一部を寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から「故人の遺産を社会のために活用してほしい」といった尊いお申し出をいただいています。

相続される方々の事情はさまざまですが、ご自分や故人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付をしたいという思いは共通しています。

当支部ではこういった思いにお応えするため、遺贈による寄付・相続財産の寄付を承っています。

詳しくは日本赤十字社大分県支部 総務課までお問い合わせください。 Tel: 097-534-2236

赤十字講習会のご案内

当支部では、いざという時に役立つ手当や事故防止に必要な知識と技術の普及に努めています。
興味のある方はぜひご参加ください。

※講習会には教材費等がかかります。詳細はホームページをご覧ください。当支部の事業推進課までお問い合わせください。
Tel: 097-534-2237



月	日	時間	講習名	備考
1月	18日(月)	9時~15時	赤十字救急法基礎講習会	
	19(火) 20日(水)	9時~17時半	赤十字救急法救急員養成講習会	基礎講習修了者対象
2月	10日(水)	10時~12時	乳幼児の応急・救命手当講習会	託児有り
	28日(日)	9時~15時	赤十字救急法基礎講習会	
3月	11日(金)	9時~15時	赤十字救急法基礎講習会	
	12(土) 13日(日)	9時~17時半	赤十字救急法救急員養成講習会	基礎講習修了者対象